

公立大学法人福岡女子大学 中期計画変更に係る新旧対照表

中期計画（現行） 福岡女子大学中期計画 目次			中期計画（変更後） 福岡女子大学中期計画 目次			変更箇所・理由		
中期目標	中期計画	頁	中期目標	中期計画	頁			
						前文の修正 福岡女子大学改革基本計画の策定及び新たな中期目標項目の設定に伴う文言の追加（別紙）		
1.教育	職場、家庭、地域など社会の様々な分野において、重要な役割を担うことができるよう、コミュニケーション能力、判断力、実行力を身に付けた女性を育成する。	1.教養教育 理解力・思考力・洞察力を育成する科目群の充実 社会において女性の能力を引き出す科目群の充実・強化 個別ゼミの拡充（教養ゼミの拡充） 英語総合能力（読解・表現・聴解）を養成する科目群の強化 コンピュータによるデータ管理・文章編集・通信等の能力を養成する科目の拡充 ボランティア活動等の単位認定制度の導入 1年次から4年次までを通した、体系的なキャリア教育の実施 2.専門教育 文学部：国際文化関連科目の充実 人間環境学部：各学科の特色が輝く教育システムの構築 3.大学院教育 文学研究科：様々な背景を有する学生支援のための教育環境の整備 人間環境学研究科：修士課程の特色ある教育システムの構築 4.教員の教育能力の向上 学生による授業評価の導入 教員の個人業績評価制度と任期制の導入 教員向けの教育指導研修の実施 5.優秀な学生の確保 多様な入試制度の導入 特待生制度の導入 入試広報活動の充実 社会人入試の充実 6.成績評価 成績評価基準の明確化とGPA（Grade Point Average）の導入 7.学習及び就職支援体制の整備 補習授業の実施 就職活動の支援 8.大学改革の推進 —改革案の検討・作成	2 5 7 8 9 11 12 13	1.教育	職場、家庭、地域など社会の様々な分野において、重要な役割を担うことができるよう、コミュニケーション能力、判断力、実行力を身に付けた女性を育成する。	1.教養教育 理解力・思考力・洞察力を育成する科目群の充実 社会において女性の能力を引き出す科目群の充実・強化 個別ゼミの拡充（教養ゼミの拡充） 英語総合能力（読解・表現・聴解）を養成する科目群の強化 コンピュータによるデータ管理・文章編集・通信等の能力を養成する科目の拡充 ボランティア活動等の単位認定制度の導入 1年次から4年次までを通した、体系的なキャリア教育の実施 2.専門教育 文学部：国際文化関連科目の充実 人間環境学部：各学科の特色が輝く教育システムの構築 3.大学院教育 文学研究科：様々な背景を有する学生支援のための教育環境の整備 人間環境学研究科：修士課程の特色ある教育システムの構築 4.教員の教育能力の向上 学生による授業評価の導入 教員の個人業績評価制度と任期制の導入 教員向けの教育指導研修の実施 5.優秀な学生の確保 多様な入試制度の導入 特待生制度の導入 入試広報活動の充実 社会人入試の充実 6.成績評価 成績評価基準の明確化とGPA（Grade Point Average）の導入 7.学習及び就職支援体制の整備 補習授業の実施 就職活動の支援	2 5 7 8 9 11 12	「8.大学改革の推進」の削除 中期目標の変更により、中期目標項目「1.教育」から大学改革の推進に関する内容が削除されたため。（別紙）
2.研究	大学の教育や社会の発展に役立つ研究を推進する。	1.特色ある研究の推進 学内外の共同研究プロジェクトの促進 研究予算の有効活用 外部研究資金の獲得 産学官連携の推進	14	2.研究	大学の教育や社会の発展に役立つ研究を推進する。	1.特色ある研究の推進 学内外の共同研究プロジェクトの促進 研究予算の有効活用 外部研究資金の獲得 産学官連携の推進	13	
3.社会貢献	大学の保有する人材、知識、施設等を社会のために活用する。	1.女性の全生涯を見通して捉えたキャリア教育・生涯教育 小中学校や高等学校との連携（青年期の教育支援） 資格取得も含んだ再教育プログラム（リカレント教育）の提供（科目等履修生制度の活用等）（就労期の教育支援） 正規の授業開放による教育の実施（科目等履修生制度の活用）（壮年・高齢期の学習支援） 心身の健康や生き甲斐を探求する各種公開講座及びホームページによる情報提供の充実（壮年・高齢期の学習支援） 2.教育成果の活用による地域貢献および国際交流の推進 女性生涯学習センターへの改組と福岡女子大学人材バンクの開設 国際交流・留学生センターの設立	16 18	3.社会貢献	大学の保有する人材、知識、施設等を社会のために活用する。	1.女性の全生涯を見通して捉えたキャリア教育・生涯教育 小中学校や高等学校との連携（青年期の教育支援） 資格取得も含んだ再教育プログラム（リカレント教育）の提供（科目等履修生制度の活用等）（就労期の教育支援） 正規の授業開放による教育の実施（科目等履修生制度の活用）（壮年・高齢期の学習支援） 心身の健康や生き甲斐を探求する各種公開講座及びホームページによる情報提供の充実（壮年・高齢期の学習支援） 2.教育成果の活用による地域貢献および国際交流の推進 女性生涯学習センターへの改組と福岡女子大学人材バンクの開設 国際交流・留学生センターの設立	15 17	
4.業務運営	理事長のリーダーシップのもと、主体的・自律的な大学運営を確立する。	1.運営体制の改善 学内資源の適正な配分と事務局機能の強化 安全衛生管理 2.人事の適正化 教員の個人業績評価システムの導入 教員全員への任期制の導入	19 20	4.業務運営	理事長のリーダーシップのもと、主体的・自律的な大学運営を確立する。	1.運営体制の改善 学内資源の適正な配分と事務局機能の強化 安全衛生管理 2.人事の適正化 教員の個人業績評価システムの導入 教員全員への任期制の導入	18 19	
5.財務	経営者の視点に立って、法人の財政運営を行う。	1.自己収入の増加 学生納付金の確保とあり方検討 学内における特別講座、有料公開講座等による収入の確保 外部研究資金の獲得 2.経費の抑制 人件費の抑制 管理運営業務の効率化（事務処理の効率化と光熱水費の節減）	21 22	5.財務	経営者の視点に立って、法人の財政運営を行う。	1.自己収入の増加 学生納付金の確保とあり方検討 学内における特別講座、有料公開講座等による収入の確保 外部研究資金の獲得 2.経費の抑制 人件費の抑制 管理運営業務の効率化（事務処理の効率化と光熱水費の節減）	20 21	
6.評価	評価を厳正に実施し、大学運営に反映する。	1.評価の充実 自己点検・評価の実施と評価委員会等の評価結果の大学運営への反映 教員の個人業績評価システムの導入と評価結果の給与への反映	23	6.評価	評価を厳正に実施し、大学運営に反映する。	1.評価の充実 自己点検・評価の実施と評価委員会等の評価結果の大学運営への反映 教員の個人業績評価システムの導入と評価結果の給与への反映	22	
7.情報公開	情報公開を積極的に推進する。	1.情報公開等の推進 大学情報の公開の推進 個人情報保護	24	7.情報公開	情報公開を積極的に推進する。	1.情報公開等の推進 大学情報の公開の推進 個人情報保護	23	
		その他中期計画において定める事項 ・収支計画予算及び資金計画予算 ・短期借入金の限度額 ・重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 ・剰余金の使途 ・その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	25	8.大学改革の推進	「福岡女子大学改革基本計画」に基づき、平成二十三年度を目途に、学部学科の再編及び新たな教育システムの構築をはじめとする抜本改革に取り組む。	1.大学改革の推進 —学部学科の再編 —新たな教育システムの構築 —海外学習及び海外からの留学生受入のための制度並びに支援体制の構築 —教育の場としての学生寮の活用 —多様な入試制度の導入及び入試体制の充実・強化 —社会貢献機能の充実に向けた各種プログラム及び体制等の整備 —大学運営に係る体制等の整備	24	「1.大学改革の推進」～の追加 中期目標の変更により、新たな中期目標項目「8.大学改革の推進」が設定されたため。（別紙）
						その他中期計画において定める事項 ・収支計画予算及び資金計画予算 ・短期借入金の限度額 ・重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 ・剰余金の使途 ・その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	27	

中期計画（現行）	中期計画（変更後）
<p>前文</p> <p>福岡女子大学は、大正12年に設置された福岡県立女子専門学校に始まります。女子専門学校は当時の帝国大学にならう形で設置され、本学の前身は、日本で最初の公立の女子専門学校です。本学はこの伝統に立ち、常に新しい時代の教育研究を志しています。</p> <p>本学は平成18年4月から運営が公立大学法人に変わります。これに伴い新しい事業体として、平成18～23年度の中期目標を達成するために中期計画をここにまとめます。</p> <p>本学はすでに平成7年に、当時の家政学部を人間環境学部に改組し、健康と生活環境を中心とする自然科学と技術の教育環境を整えました。また、文学部については、平成16年の県立大学独立行政法人化改革検討委員会による提言において、「学生にとって卒業後の進路が見えやすく、魅力のある教育研究分野」を工夫し、「人材育成の目標、提供する教育を明確にし、特徴を打ち出す」必要性を指摘されています。今回の法人化と中期計画においては、改めて大学全体として教育組織と教育内容を抜本的に見直します。</p> <p>女子大学の使命は、女性の潜在的な能力を掘り起こし、その能力を社会のあらゆる分野で生かし、わが国と世界の未来を拓くことにあります。世界が直面する環境問題や高齢社会の問題を解決する鍵となるのは、人口の半分を占める女性の生き方です。女性が活動する上で抱える就労等のさまざまな問題についても、女子大学として独自の取り組みを工夫し、男女共同参画を推進し社会に活力を与える責務を果たします。</p> <p>本文書は中期目標の1．教育、2．研究、3．社会貢献、4．業務運営、5．財務、6．評価、7．情報公開の7つの項目にしたがい、それぞれ計画をまとめています。これらの中で特に強調したい特色は次のとおりです。</p> <p>私たちは教養教育を重視します。教養を通じて現代を生きる知恵を学び、思考力と理解力、洞察力を身につけます。また就学中に社会活動を実践し、女性の能力を引き出す授業内容を充実させ、共学大学では埋没しがちな女性の「自立性とリーダーシップ」を育てます。</p> <p>私たちは独自に、「女性の全生涯を見通して捉えたキャリア教育・生涯教育」のシステムを開発します。この教育では女性の全生涯を見渡す立場から、「中学・高校から大学にわたる修学期、就労・育児期、壮年・高齢期」の代表的な三期間に分けて、それぞれに適切な学習プログラムを提供します。公立の女子大学として、女性の全生涯を真に捉える立場から、全女性にひとつの教育モデルを開発し提案します。</p>	<p>前文</p> <p>福岡女子大学は、大正12年に設置された福岡県立女子専門学校に始まります。女子専門学校は当時の帝国大学にならう形で設置され、本学の前身は、日本で最初の公立の女子専門学校です。本学はこの伝統に立ち、常に新しい時代の教育研究を志しています。</p> <p>本学は平成18年4月から運営が公立大学法人に変わります。これに伴い新しい事業体として、平成18～23年度の中期目標を達成するために中期計画をここにまとめます。</p> <p>本学はすでに平成7年に、当時の家政学部を人間環境学部に改組し、健康と生活環境を中心とする自然科学と技術の教育環境を整えました。また、文学部については、平成16年の県立大学独立行政法人化改革検討委員会による提言において、「学生にとって卒業後の進路が見えやすく、魅力のある教育研究分野」を工夫し、「人材育成の目標、提供する教育を明確にし、特徴を打ち出す」必要性を指摘されています。今回の法人化と中期計画においては、改めて大学全体として教育組織と教育内容を抜本的に見直します。</p> <p>女子大学の使命は、女性の潜在的な能力を掘り起こし、その能力を社会のあらゆる分野で生かし、わが国と世界の未来を拓くことにあります。世界が直面する環境問題や高齢社会の問題を解決する鍵となるのは、人口の半分を占める女性の生き方です。女性が活動する上で抱える就労等のさまざまな問題についても、女子大学として独自の取り組みを工夫し、男女共同参画を推進し社会に活力を与える責務を果たします。</p> <p>本文書は中期目標の1．教育、2．研究、3．社会貢献、4．業務運営、5．財務、6．評価、7．情報公開の7つの項目にしたがい、それぞれ計画をまとめています。これらの中で特に強調したい特色は次のとおりです。</p> <p>私たちは教養教育を重視します。教養を通じて現代を生きる知恵を学び、思考力と理解力、洞察力を身につけます。また就学中に社会活動を実践し、女性の能力を引き出す授業内容を充実させ、共学大学では埋没しがちな女性の「自立性とリーダーシップ」を育てます。</p> <p>私たちは独自に、「女性の全生涯を見通して捉えたキャリア教育・生涯教育」のシステムを開発します。この教育では女性の全生涯を見渡す立場から、「中学・高校から大学にわたる修学期、就労・育児期、壮年・高齢期」の代表的な三期間に分けて、それぞれに適切な学習プログラムを提供します。公立の女子大学として、女性の全生涯を真に捉える立場から、全女性にひとつの教育モデルを開発し提案します。</p> <p><u>&lt;平成21年1月28日変更（追加）&gt;</u>  <u>平成20年11月、変化の時代に柔軟に対応できる豊かな知識と確かな判断力、しなやかな適応力を持ち、アジアや世界の視点に立って、国内はもとより、海外の国や地域において、より良い社会づくりに貢献することのできる女性の育成を改革の基本理念とする「福岡女子大学改革基本計画」が策定・公表されました。これに伴い、中期目標の項目に「8．大学改革の推進」が新たに追加されました。</u>  <u>私たちは、この項目にしたがって中期計画を変更し、新しい時代にふさわしい福岡女子大学を実現するため、抜本改革に全力で取り組みます。</u></p>

中期計画(現行)								中期計画(変更後)							
福岡女子大学 1 - 8															
中期目標	項目	教育													
中期計画	項目	大学改革の推進 福岡県とアジア諸国とのネットワークの知的拠点となる大学づくりを進め、国際社会で活躍できる高度専門職業人を育成するため、理事長のもと、福岡女子大学の教育組織及び教育内容の抜本的な改革を推進する。						( 削除 )							
	実施事項	1. 改革案の検討・作成													
中期計画内容															
1	実施事項	改革案の検討・作成													
	内容	・理事長のもと、全学的な検討のための組織を立ち上げて検討を行う。 ・労働市場や学生のニーズ等、マーケティングを行う。 ・学部・大学院を含め、大学全体の教育組織、教育内容を見直す。 ・19年度までに改革案を検討・作成し、中期計画の変更を行う。													
	評価指標	指標						達成目標							
		改革案の作成						平成19年度中に作成							
	実施計画	H18	H19	H20	H21	H22	H23	備考							
調査・分析	→														
改革案の検討・作成		→													
変更後の中期計画の遂行						→									

中期目標	項目	大学改革の推進
中期計画	項目	大学改革の推進  「福岡女子大学改革基本計画」に基づき、次の事項を改革の柱として、平成23年度の新学部開設に向け、全学を挙げて改革推進に取り組む。 ・グローバル化時代に対応した学部学科の再編 ・自らの関心に応じて学習できる弾力的な教育システムの導入 ・これからの社会に求められる普遍的な能力を培う「国際共生プログラム」を実施 ・外国語によるコミュニケーション能力の育成 ・学外の教育リソースを活用した体験型の学習環境の創出 ・教育の場としての学生寮 ・社会貢献機能の充実
	実施事項	1. 学部学科の再編 2. 新たな教育システムの構築 3. 海外学習及び海外からの留学生受入のための制度並びに支援体制の構築 4. 教育の場としての学生寮の活用 5. 多様な入試制度の導入及び入試体制の充実・強化 6. 社会貢献機能の充実に向けた各種プログラム及び体制等の整備 7. 大学運営に係る体制等の整備

中期計画内容

1	実施事項	学部学科の再編						
	内容	グローバル化時代の課題に幅広く対応できるよう、現在の2学部5学科を1学部3つのコース(「国際」「環境」「食・健康」の3つの課題に応じたコース)に再編する。						
	評価指標	指標				達成目標		
	実施計画	H18	H19	H20	H21	H22	H23	備考
	新学部認可申請				→			
2	実施事項	新たな教育システムの構築						
	内容	グローバル化する社会で自らにふさわしい生き方を実現するために必要な能力と専門性を身に付けることができるよう、主体的な学びと幅広い学びを重視した実践的な教育システムを構築する。						
	評価指標	指標				達成目標		
	実施計画	H18	H19	H20	H21	H22	H23	備考
	国際共生プログラムなど全学共通教育課程の編成・実施				編成	→	実施	
	専門教育課程(コース・専攻分野)の編成・実施				編成	→	実施	
	学生参加型少人数教育、体験型学習の充実					→		
	外国語コミュニケーション能力育成のための教育手法導入				準備	→	実施	
	国内外の大学・企業等との連携強化					→		
	履修システム・履修指導制度・体制の構築				準備	→	実施	

中期計画内容

3	実施事項	海外学習及び海外からの留学生受入のための制度並びに支援体制の構築						
	内容	・国際舞台で通用する人材を育成するため、海外学習プログラム(交換留学、語学研修、フィールドスタディなど)を整備するなど海外学習制度を構築するとともに、質の高い留学生を受け入れるための教育プログラムを整備する。 ・奨学基金を創設し、海外学習及び海外からの留学生受入の支援体制を構築する。						
	評価指標	指標					達成目標	
	実施計画	H18	H19	H20	H21	H22	H23	備考
	海外学習制度の構築				準備	→	実施	
	奨学基金の確保						→	
	留学生受入に係る教育プログラム、支援体制の構築				準備	→	実施	
4	実施事項	教育の場としての学生寮の活用(原則1年間の全寮制教育)						
	内容	異文化理解力、コミュニケーション能力、リーダーシップなどの育成を図るためのプログラムを整備するとともに、学生寮運営の仕組みを構築する。						
	評価指標	指標					達成目標	
	実施計画	H18	H19	H20	H21	H22	H23	備考
	全寮制の教育プログラムの整備				整備	→	実施	
5	実施事項	多様な入試制度の導入及び入試体制の充実・強化						
	内容	・優秀かつ多様な学生の確保のため、多様な入試制度を導入する。 ・入試業務全体を統括するアドミッションオフィスを設置するとともに、高等学校等へのPR活動、オープンキャンパスの充実等、積極的な情報発信活動を展開する。						
	評価指標	指標					達成目標	
	実施計画	H18	H19	H20	H21	H22	H23	備考
	多様な入学者選抜方法の検討・実施				検討	→	実施	
	アドミッションオフィスの設置					→		
	積極的な情報発信活動の展開						→	

中期計画内容

6	実施事項	社会貢献機能の充実にに向けた各種プログラム及び体制等の整備						
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の特色を活かし、社会人教育や再就職支援プログラムの提供など、女性の一生涯を対象とした再学習拠点としての機能を充実する。</li> <li>・大学と地域が相互交流する環境づくりを推進する。</li> <li>・社会貢献活動の積極的な推進と情報発信機能の強化を図るため、大学の社会貢献活動を総合的に実施する全学的組織としてエクステンションセンターを設置する。</li> </ul>						
	評価指標	指標					達成目標	
	実施計画	H18	H19	H20	H21	H22	H23	備考
	社会人への教育プログラム等の整備							
	地域交流活動の検討・実施				検討		実施	
	エクステンションセンターの設置							
7	実施事項	大学運営に係る体制等の整備						
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優秀な教職員の確保に取り組むとともに、事務局体制を整備する。</li> <li>・新学部開設に伴う教育設備等の整備に取り組む。</li> </ul>						
	評価指標	指標					達成目標	
	実施計画	H18	H19	H20	H21	H22	H23	備考
	外国人教員や女性教員の積極的確保							
	事務局体制の整備・強化				整備		強化	
	教育設備等の整備							